

第1804号

2016年7月10日

日本共産党根室市議団

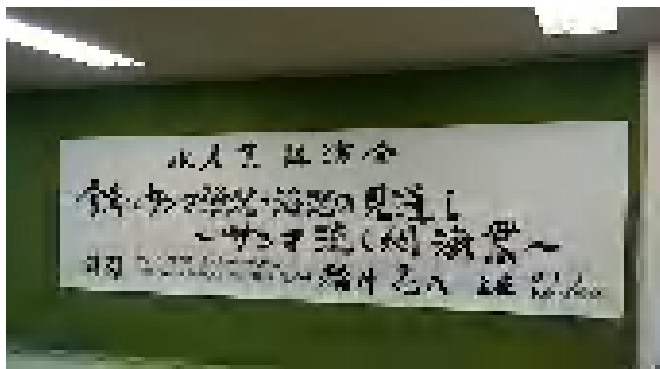
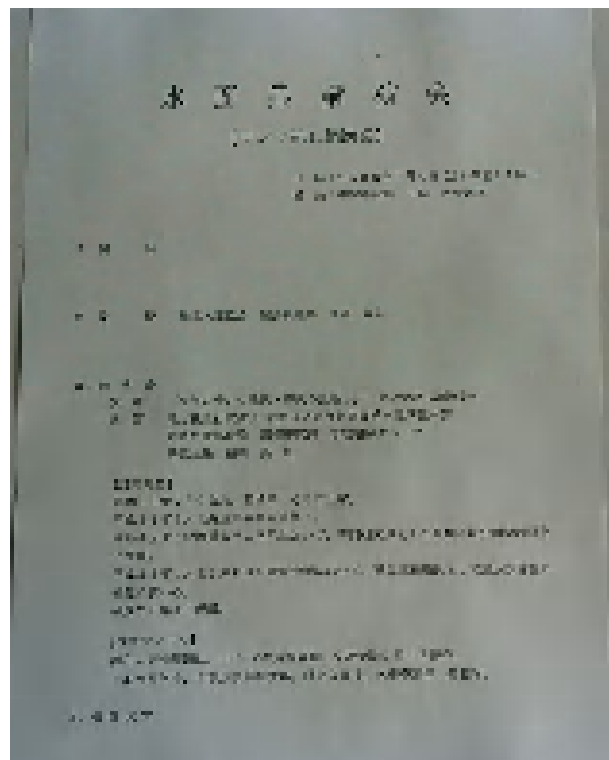
根室市宝林町4-203

TEL 23-6023

FAX 24-1684

# どうなる？今年のサンマ漁

道東沖のサンマ流し網漁の解禁が迫る（8日）なか、根室市水産教会と根室市は4日、「今年のサンマ漁況・海況の見通し～サンマ流し網漁業～」と題して、水産業講演会を開きました。



講師は、道立総合研究機構水産研究本部・釧路水産試験場管理増殖グループ研究主任の稲川亮氏です。稲川氏は、まず、昨年のサンマ流し網漁の状況について説明しました。昨年は、北海道全体で水揚量が前年比60%にとどまったものの、水揚額はほぼ同額、魚体は序盤から大型がとれたと述べました。

今年の状況  
稲川氏は、6月下旬の海況について、道東沖の表面水温と水深50mの温度がともに平年より高くなっていると報告。また、流し網での調査結果では78尾捕獲し、昨年の66尾と同様低い水準であること、魚体については、大型が半数以上を占めましたが、中型のほか、昨年では見られなかった小型も混ざっていたとのこと

期。の漁場は沿岸寄りに形成される見通しを明らかにしました。魚体については、大型が見込まれるとのこと

また、流し網でのサバやイワシ類の調査結果は、サバ・マイワシは前年と同程度だったものの、カタクチイワシは非常に低い水準になっていると述べました。

ロシア2000カイリ内でのサケマス流し網漁が禁止となり、市中経済にも影響していることから、根室市の太宗漁業であるサンマ漁に多くの市民が期待を寄せています。

今後の見通し  
稲川氏は、今後のサンマ流し網漁の見通しについて、調査結果及び三陸沖での定置網による漁獲状況から、「サンマの来遊量は少ないと考えられる」と指摘。漁場については、サンマが好む13度前後の水温体が道東沿岸に分布するとみられ、初

今回の講演で、厳しい見通しが示されましたが、良い意味で予想が外れることを期待し、流し網漁に引き続き棒受け網漁で大漁になることを願うものです。



畠山和也 国会かけある記  
頑張ったところが勝つ

驚くような反応！参院選が始まり、道内で政党カーから訴えを続けていますが、庭いしりをしてきた方から募金が寄せられたり、客待ちのタクシー運転手が続々出てきて話を聞いてくれたり。今の政治のひどさに我慢できない！という方が多い証拠です。

北海道・東北を活動地域とする女性比例候補は札幌での第一声後に福島向かい、また北海道を志位委員長との演説会に参加する強行スケジュール。それでも疲れを見せない元気な笑顔と訴えに、握手を求めた方が相次ぎました。

北海道選挙区候補者に街頭演説で「モリリ〜ン」と声がかかり、演説も気合十分。志位委員長への応援も力が入り、選挙区勝利への熱気に包まれました。

一方でポスター張り出しやすれ違う選挙カーから見える勢いなど他陣営も必死です。やっぱり選挙は「やるべきことをやる」最後までがんばったところが勝つのだと思います。特に憲法改悪が狙われているだけに、持てる力を出し切りたい。